

## 進捗状況の概要

### ① 事業全体の推進体制

平成26年度の事業採択を受けて学内における事業実施体制、環境の整備を行い、教育担当副学長をチーム長とする「YNU教学マネジメントチーム」を発足させた。同チームには各学部の教務委員長等が参画し、本事業における取り組みの検討をはじめ、本事業を通じた本学の教育改革の方針及び目標等について共通理解を促進した。また外部評価委員会を設置してこれまでに3回開催しており、事業の推進にあたり年度末に事業評価と助言を受けている。また、教員間での共通理解を促進するために本学では各学部の教授会に出向いてFD研修会を実施しており、その他にもAP/FDニュースレターの作成、発行を通して本事業における取り組みを学内外に広く周知した。

### ② 授業設計方法と成績評価の改善計画の進捗状況

事業採択年度の平成26年度より全学的な「授業設計と成績評価ガイドライン」の検討を加速させ、平成27年度に策定し全学に周知を行った。ガイドラインの作成においては、平成27年度を含め学部教授会でのFD研修会で2回意見交換を行っている。ガイドラインでは、全学的な成績評価の基準表を策定したほか、授業科目ごとに授業別ルーブリックを作成し電子シラバス上に掲載することとした。その結果平成27年度にシラバス登録した平成28年度開講科目における授業別ルーブリックの作成率は43.6%となった。またガイドラインの導入に合わせ、授業事前・事後の学修内容の明示、履修目標・到達目標の入力項目の分離等の電子シラバスシステムの改修を行った。

### ③ YNU学士力の可視化（教学IRシステム拡充）事業の進捗状況

学士力の可視化事業においては、平成26年度に引き続き学生の学修行動の特徴と課題を把握するため大学IRコンソーシアム学生調査を全学部生対象として行った。教学IRシステムを活用して結果を分析し同コンソーシアム加盟校平均値と比較することで、教育の質向上に向けた課題と改善点を抽出し、学内で共有した。また平成27年度は、教員への成績分布表示システム、授業アンケート結果と学生成績データ連動分析システムを導入し、YNU教学マネジメントチームに分析をもとにした課題などの情報提供ができる環境を整備した。その他に、他大学訪問等を通してIR活動に関する情報収集を行った。

### ④ YNU就業力の可視化（キャリア教育の再体系化）事業の進捗状況

学生の就業力を可視化すべく、キャリア教育科目履修生等を中心にサンプル調査を実施した。コンピテンシーの伸長が学年進行に伴い二極化する傾向にあり、その主要因が対人基礎力にあることがわかった。キャリア教育科目等で実施した新入生の意識調査からは、大学で学ぶ目的意識と進路見通しに相関があり、学業と職業の係わりを意識させることで主体的な学びにつながるということがわかった。可視化成果に基づくキャリア教育の再体系化では、平成28年度にグローバル人材養成科目を新規開設すべく授業案を完成させた。既設キャリア教育7科目では、主体的な学びの姿勢を醸成するアクティブ・ラーニングを推進し、授業満足度（4段階評価）は平均3.84と全学平均（3.3前後）を大幅に上回った。

### ⑤ YNU学生ポートフォリオの構築の進捗状況

平成27年度は、学生の利用率の向上に向けてシステムを一部改修した。履修登録時にポートフォリオを経由するよう改修したことで、学生ポートフォリオの利用率は63.9%まで高まっている。また学生ポートフォリオの構築に向けて予定を1年前倒しし、学修行動への動機付けとしてGPAの成績評価分布図をポートフォリオ上に導入した。さらに、利便性を高めるためキャリアデザインファイルの項目を整理・改訂すると共に、「就業力自己チェックシート」を導入する計画を立案しており、今後予定しているポートフォリオ改修に反映させる予定である。